

## 地域がつながり、安全で快適に 過ごせるまちをつくらう

(分野:防災、安全、街、道路、交通)

### 《提案のねらい》

安全快適なまちづくりグループでは、地域がつながり、安全で快適に過ごせるまちをつくることを目的とした3つのまちづくりのテーマをまとめました。具体的には、「災害に強く犯罪の少ないまちづくり」、「景観と安全が調和したまちづくり」「交通の利便性が向上したまちづくり」にわけて提案しています。

### 《提案の全体像》

災害に強く犯罪の  
少ないまちづくり



景観と安全が調和した  
まちづくり



交通の利便性が向上した  
まちづくり



# 安全快適なまちづくりグループからの提案

## 《提案の内容》

1

災害に強く犯罪の少ないまちづくり

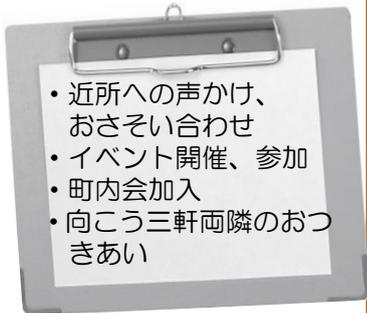
「災害に強く犯罪の少ないまちづくり」では、地域コミュニティの醸成、防犯対策、情報発信・情報共有について提案しています。

### 《特に力を入れてほしい取組み》

みんなで取り組もう！

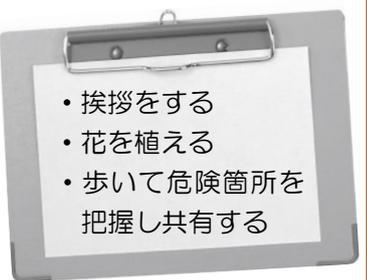
#### テーマ1 地域コミュニティの醸成

- 地域交流を進め、繋がりを深める  
災害時の避難や防犯のためには、地域の人々の繋がりが重要であり、日頃から交流や様々な活動を行っている状態であることが重要です。
- 地域のイベントや活動の強化
- 防災訓練等への参加や、災害時に皆で支え合う意識の醸成  
災害時の迅速な対応のためには、日頃からの訓練や参加を促す仕掛けづくり（ポイント制度等）が必要です。

- 
- 近所への声かけ、おさそい合わせ
  - イベント開催、参加
  - 町内会加入
  - 向こう三軒両隣のおつきあい

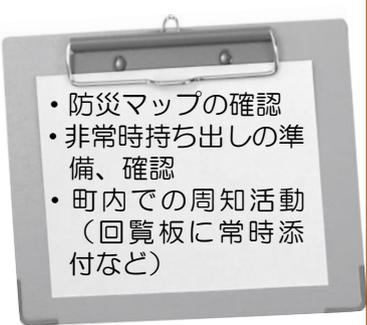
#### テーマ2 防犯対策

- 空家の解消、空家バンクシステムの導入  
空家の増加は犯罪の増加につながることから、空家の把握・解消に向けての取組みが必要です。
- 路地裏への街灯の設置
- 花いっぱい運動  
防犯のためには、暗い場所を減らしたり、花を植えることが効果的であり、推進することが必要です。

- 
- 挨拶をする
  - 花を植える
  - 歩いて危険箇所を把握し共有する

#### テーマ3 避難場所や危険箇所等の情報発信・情報共有

- 市のホームページの充実（防災マップ等）
- 危険箇所を簡単に知ることができるシステムづくり  
防災マップ等災害に関する情報を日頃より簡単に閲覧できたり、配布したりすることが必要です。
- 災害情報を一元管理できる体制の構築
- 情報伝達体制、方法の工夫  
災害時に迅速に対応するためには、情報の収集や伝達方法を確立し、個々に正確に伝えることが必要です。
- 学校や地域一体となった防災訓練の実施  
学校や職場単位よりも地域単位で訓練を行うことでより効果があがると考えます。

- 
- 防災マップの確認
  - 非常時持ち出しの準備、確認
  - 町内での周知活動（回覧板に常時添付など）

# 安全快適なまちづくりグループからの提案

## 《提案の内容》

2

景観と安全が調和したまちづくり

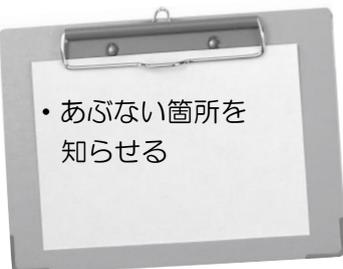
「景観と安全が調和したまちづくり」では、景観と安全の調和を図るための取組みについて提案しています。

### 《特に力を入れてほしい取組み》

みんなで取り組もう！

テーマ1  
道路や歩道の  
景観と安全との調和

- 視認性に考慮した植栽の配置や樹木の選定
- 剪定の必要がない樹木への植え替え（広葉樹）  
歩道の植栽で、運転の邪魔になる場所に設置してあったり、枝が伸びて邪魔になっていることがあるので、設置や樹木の選定には配慮が必要です。なお、剪定の際には、イチョウ等紅葉の綺麗な時期には剪定しないなど、景観への配慮も必要です。
- 複合する道路工事の合同実施  
経費削減や車の安全のために、更なる配慮が必要です。



• あぶない箇所を知らせる

テーマ2  
歩行者と  
自転車との  
調和

- 歩道と自転車道を分けられた道路整備  
歩行者道の安全確保のため、歩道を歩行者と自転車が通るエリアに分ける等の対策が必要です。特に通学路での早急な対策が必要です。
- 自転車の安全講習の実施や啓発活動  
歩行者の安全確保のため、自転車の運転マナーを向上させる取組みが必要です。



• 子どもへの交通マナーの教育

# 安全快適なまちづくりグループからの提案

## 《提案の内容》

3

交通の利便性が向上した  
まちづくり

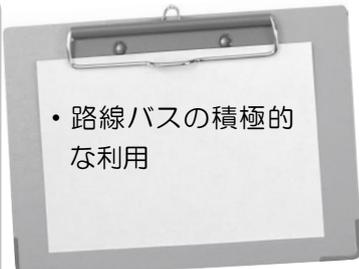
「交通の利便性が向上したまちづくり」では、バスの利用促進や道路網の整備について提案しています。

## 《特に力を入れてほしい取組み》

みんなで取り組もう！

### テーマ1 バスの 利用促進

- 路線維持のための運行事業者に対する補助
- バスの運行時刻の周知
- フリー乗降区間の拡大
- コミュニティバス、小型バスの運行
- 市内主要地を結ぶシャトルバスの運行  
バス路線の維持のための補助や利用状況に合わせた運行形態等の対応が必要です。また、利用者を増やすための周知や利便性向上の取組み等も必要です。
- 免許証返納者のバス利用促進  
高齢者の運転免許証返納者へ、バス回数券を配るなどの対策が必要です。

- 
- 路線バスの積極的な利用

### テーマ2 道路網 の整備

- 空港への代替道路の整備
- 道路の拡幅  
災害時に道路が寸断される場合を想定し、主要地点を結ぶ道路は、複数のルート確保が必要です。